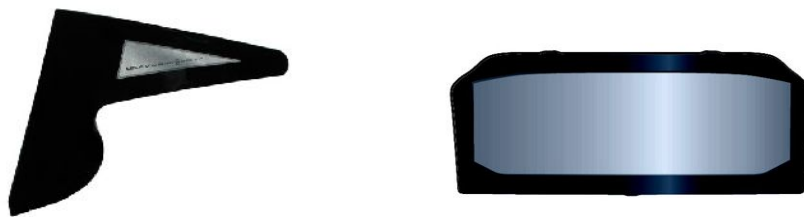


ポリカーボネート樹脂「パンライト®」製の樹脂グレージングが
トヨタ自動車株式会社「レクサスLFA」に搭載の株式会社豊田自動織
機製のクォーターウインドウとパーティション部品に採用されました

Panlite®



ポリカーボネート樹脂「パンライト®」による
株式会社豊田自動織機製クォーターウインドウとパーティション部品

帝人化成では少量生産向け自動車グレージングの軽量化技術を開発、独自の成形加工技術を生かしたポリカーボネート樹脂「パンライト®」製の樹脂グレージングが、トヨタ自動車株式会社が2010年末から生産開始の2シータースポーツ『レクサスLFA』に搭載の株式会社豊田自動織機製のクォーターウインドウとパーティション部品に採用され、従来のガラス製品と同等の外観特性を有しながら、ガラス素材に対して40%以上の大幅な軽量化を実現しました。

今回、「レクサスLFA」に採用された樹脂グレージングは、ポリカーボネート樹脂「パンライト®」による自動車ボディの軽量化、デザイン自由度を活かしながら、帝人化成が独自に開発してきた射出プレス成形技術を駆使して、押出シートでは得られない外観品質に優れた樹脂グレージングを実現するとともに、株式会社豊田自動織機にて新開発されたハードコート塗料による表面処理を施すことで、耐候性と耐傷付き性を飛躍的に向上させました。

帝人化成では今後も独自の素材技術・成形加工技術・表面機能付与技術・ソリューション技術を駆使して商品開発に取り組み、自動車・モビリティ用途での「車体の軽量化」という顧客の嬉しさの実現、持続可能な地球環境への対応を図り、地球に優しい技術開発を通じて、世に貢献していきます。

※写真の提供:トヨタ自動車株式会社殿 株式会社豊田自動織機殿